

英国公社債ファンド (毎月分配型) (愛称：UKボンド)

運用報告書(全体版)

第84期 (決算日 2022年3月8日)
第85期 (決算日 2022年4月8日)
第86期 (決算日 2022年5月9日)
第87期 (決算日 2022年6月8日)
第88期 (決算日 2022年7月8日)
第89期 (決算日 2022年8月8日)

(作成対象期間 2022年2月9日～2022年8月8日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2015年2月17日～2025年2月7日		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	英国公社債マザーファンドの受益証券	
	英国公社債マザーファンド	英国ポンド建債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、英国ポンド建ての債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			F T S E 英国債インデックス (円換算)		公 社 債 入 率	債 先 比	券 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	%		百万円
60期末 (2020年3月9日)	7,290	20	△ 3.8	9,798	△ 0.0	95.7	—	—	211
61期末 (2020年4月8日)	6,965	20	△ 4.2	9,638	△ 1.6	94.8	—	—	203
62期末 (2020年5月8日)	7,022	20	1.1	9,831	2.0	95.3	—	—	204
63期末 (2020年6月8日)	7,392	20	5.6	10,061	2.3	94.7	—	—	217
64期末 (2020年7月8日)	7,275	20	△ 1.3	10,002	△ 0.6	95.8	—	—	211
65期末 (2020年8月11日)	7,495	20	3.3	10,225	2.2	95.5	—	—	219
66期末 (2020年9月8日)	7,502	20	0.4	10,128	△ 0.9	96.2	—	—	218
67期末 (2020年10月8日)	7,309	20	△ 2.3	9,852	△ 2.7	96.6	—	—	207
68期末 (2020年11月9日)	7,276	20	△ 0.2	9,809	△ 0.4	94.9	—	—	206
69期末 (2020年12月8日)	7,458	20	2.8	10,041	2.4	95.5	—	—	210
70期末 (2021年1月8日)	7,552	20	1.5	10,155	1.1	97.0	—	—	210
71期末 (2021年2月8日)	7,651	20	1.6	10,186	0.3	95.6	—	—	211
72期末 (2021年3月8日)	7,777	20	1.9	10,240	0.5	96.0	—	—	209
73期末 (2021年4月8日)	7,765	20	0.1	10,285	0.4	94.2	—	—	208
74期末 (2021年5月10日)	7,859	20	1.5	10,439	1.5	94.3	—	—	211
75期末 (2021年6月8日)	7,930	20	1.2	10,544	1.0	93.3	—	—	209
76期末 (2021年7月8日)	7,904	20	△ 0.1	10,676	1.2	93.7	—	—	207
77期末 (2021年8月10日)	7,949	20	0.8	10,899	2.1	95.8	—	—	207
78期末 (2021年9月8日)	7,834	20	△ 1.2	10,675	△ 2.1	95.5	—	—	205
79期末 (2021年10月8日)	7,625	20	△ 2.4	10,201	△ 4.4	95.7	—	—	191
80期末 (2021年11月8日)	7,832	20	3.0	10,798	5.9	95.6	—	—	196
81期末 (2021年12月8日)	7,730	20	△ 1.0	10,900	0.9	95.0	—	—	194
82期末 (2022年1月11日)	7,748	20	0.5	10,582	△ 2.9	95.5	—	—	194
83期末 (2022年2月8日)	7,485	20	△ 3.1	10,259	△ 3.1	96.0	—	—	187
84期末 (2022年3月8日)	7,244	20	△ 3.0	10,028	△ 2.3	96.1	—	—	181
85期末 (2022年4月8日)	7,526	20	4.2	10,213	1.8	96.1	—	—	188
86期末 (2022年5月9日)	7,247	20	△ 3.4	9,781	△ 4.2	95.3	—	—	179
87期末 (2022年6月8日)	7,388	20	2.2	9,901	1.2	95.4	—	—	182
88期末 (2022年7月8日)	7,136	20	△ 3.1	9,639	△ 2.6	95.0	—	—	176
89期末 (2022年8月8日)	7,166	20	0.7	9,709	0.7	96.1	—	—	175

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) F T S E 英国債インデックス (円換算) は、F T S E 英国債インデックス (英国ポンドベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E 英国債インデックス (英国ポンドベース) は、F T S E Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はF T S E Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はF T S E Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

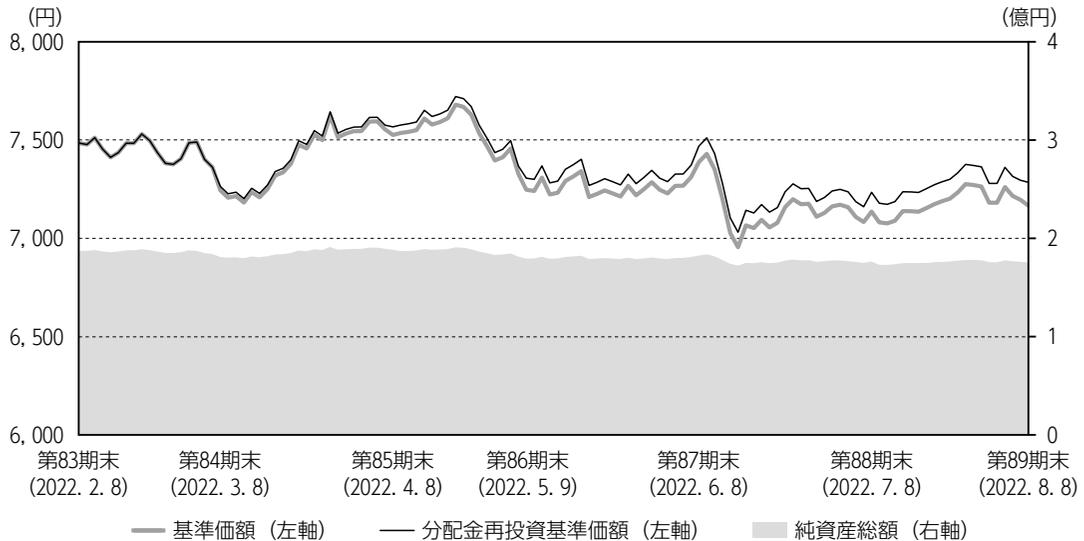
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第84期首：7,485円

第89期末：7,166円（既払分配金120円）

騰落率：△2.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

英ポンド建ての債券に投資した結果、保有債券からの利息収入や英ポンドが対円で上昇（円安）したことはプラス要因となりましたが、金利が上昇（債券価格は下落）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

英国公社債ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		F T S E 英国債インデックス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 先 比	券 物 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率					
第84期	(期 首) 2022年 2 月 8 日	円	%						
		7,485	—	10,259	—	96.0	—	—	
	2 月末	7,376	△ 1.5	10,063	△ 1.9	95.6	—	—	
第85期	(期 末) 2022年 3 月 8 日	7,264	△ 3.0	10,028	△ 2.3	96.1	—	—	
	(期 首) 2022年 3 月 8 日	7,244	—	10,028	—	96.1	—	—	
	3 月末	7,533	4.0	10,221	1.9	95.7	—	—	
第86期	(期 末) 2022年 4 月 8 日	7,546	4.2	10,213	1.8	96.1	—	—	
	(期 首) 2022年 4 月 8 日	7,526	—	10,213	—	96.1	—	—	
	4 月末	7,413	△ 1.5	10,104	△ 1.1	95.2	—	—	
第87期	(期 末) 2022年 5 月 9 日	7,267	△ 3.4	9,781	△ 4.2	95.3	—	—	
	(期 首) 2022年 5 月 9 日	7,247	—	9,781	—	95.3	—	—	
	5 月末	7,286	0.5	9,801	0.2	93.9	—	—	
第88期	(期 末) 2022年 6 月 8 日	7,408	2.2	9,901	1.2	95.4	—	—	
	(期 首) 2022年 6 月 8 日	7,388	—	9,901	—	95.4	—	—	
	6 月末	7,130	△ 3.5	9,560	△ 3.4	94.8	—	—	
第89期	(期 末) 2022年 7 月 8 日	7,156	△ 3.1	9,639	△ 2.6	95.0	—	—	
	(期 首) 2022年 7 月 8 日	7,136	—	9,639	—	95.0	—	—	
	7 月末	7,264	1.8	9,796	1.6	95.9	—	—	
	(期 末) 2022年 8 月 8 日	7,186	0.7	9,709	0.7	96.1	—	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 2. 9 ~ 2022. 8. 8）

英国債券市場

英国債券市場の金利は上昇しました。

当作成期首より、B O E（イングランド銀行）委員会で0.5%の利上げを支持した委員が複数名いたことがタカ派サプライズとなり、英国債金利は上昇しました。2022年2月後半には、ウクライナ情勢の悪化に伴い投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下（債券価格は上昇）しましたが、3月に入るとリスク回避姿勢が弱まるとともに利上げ観測が再び強まり、金利は上昇しました。その後は、インフレ率の上昇が続いたことで金融引き締め観測がさらに高まり、金利は上昇を続けました。しかし6月後半からは、経済指標の悪化を受けて景気後退が懸念されるようになり、金利は低下しました。

為替相場

英ポンドの対円為替相場は上昇しました。

当作成期首より、利上げ観測の高まりから英ポンドは上昇しましたが、2022年2月後半からウクライナ情勢の悪化に伴い投資家のリスク回避姿勢が強まると円が買われ、対円で英ポンドは下落（円高）しました。しかし3月以降は、B O E（イングランド銀行）が利上げを実行していく一方で、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、金融政策の相違がより明確となり、英ポンドは対円で上昇しました。5月には発表されたGDP（国内総生産）速報値が市場予想を下振れたことにより、英ポンドが下落する局面がありましたが、その後はB O Eがタカ派姿勢を強めたことで英ポンドは再び上昇しました。6月後半からは、経済指標の悪化を受けて景気後退懸念が高まったことを受け、英ポンドは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「英国公社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れます。

英国公社債マザーファンド

当ファンドは、B B B格相当以上（取得時）の英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利変動リスクを表す修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに

基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行います。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行った上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

ポートフォリオについて

(2022. 2. 9 ~ 2022. 8. 8)

当ファンド

「英国公社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れました。

英国公社債マザーファンド

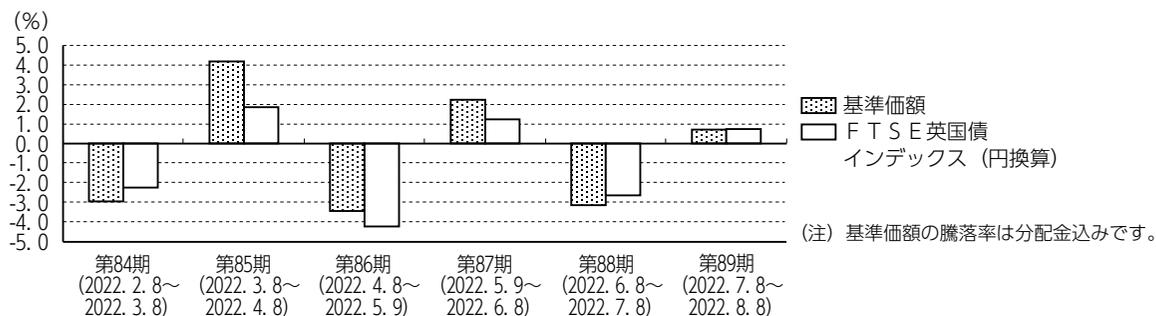
英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、5（年）程度から10（年）程度の範囲内で運用しました。英国経済のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や金融政策の方向性、また世界的な金融環境などを勘案しつつ、修正デュレーションを機動的に調整しました。債券種別構成としては、国債と社債を中心にポートフォリオを構築しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2022年2月9日 ～2022年3月8日	2022年3月9日 ～2022年4月8日	2022年4月9日 ～2022年5月9日	2022年5月10日 ～2022年6月8日	2022年6月9日 ～2022年7月8日	2022年7月9日 ～2022年8月8日
当期分配金(税込み) (円)	20	20	20	20	20	20
対基準価額比率 (%)	0.28	0.27	0.28	0.27	0.28	0.28
当期の収益 (円)	11	20	13	18	11	15
当期の収益以外 (円)	8	—	6	1	8	4
翌期繰越分配対象額 (円)	227	229	223	221	213	208

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 11.78円	✓ 22.00円	✓ 13.53円	✓ 18.26円	✓ 11.37円	✓ 15.44円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 235.95	227.79	✓ 227.84	✓ 223.42	✓ 221.73	✓ 213.14
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	✓ 2.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	247.73	249.80	243.37	241.68	233.10	228.58
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	227.73	229.80	223.37	221.68	213.10	208.58

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「英国公社債マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れます。

■英国公社債マザーファンド

当ファンドは、B B B格相当以上（取得時）の英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利変動リスクを表す修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行います。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行った上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2022. 2. 9～2022. 8. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	47円	0.642%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7,328円です。
（投 信 会 社）	(20)	(0.272)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(26)	(0.354)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.024	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	49	0.666	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

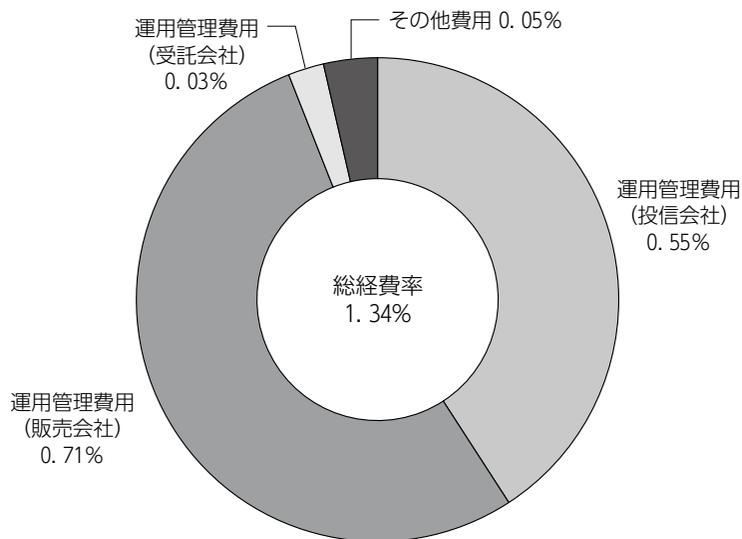
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.34%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年2月9日から2022年8月8日まで)

決算期	第84期～第89期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
英国公社債 マザーファンド	2,792	2,761	10,768	10,814

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第83期末	第89期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
英国公社債 マザーファンド	184,300	176,325	174,544

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年3月8日)、(2022年4月8日)、(2022年5月9日)、(2022年6月8日)、(2022年7月8日)、(2022年8月8日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	181,799,984円	189,453,059円	180,144,333円	183,703,031円	177,049,922円	176,067,583円
コール・ローン等	1,555,008	1,605,222	1,538,987	1,543,944	1,529,373	1,523,262
英国公社債マザーファンド(評価額)	180,244,976	187,423,406	178,605,346	181,617,346	175,494,792	174,544,321
未収入金	—	424,431	—	541,741	25,757	—
(B) 負債	687,193	1,099,264	704,399	1,224,138	696,000	690,781
未払収益分配金	500,061	500,548	495,199	493,990	494,231	489,474
未払解約金	—	391,627	2	533,336	6,505	32
未払信託報酬	185,965	204,639	205,457	191,869	189,130	193,925
その他未払費用	1,167	2,450	3,741	4,943	6,134	7,350
(C) 純資産総額(A-B)	181,112,791	188,353,795	179,439,934	182,478,893	176,353,922	175,376,802
元本	250,030,694	250,274,361	247,599,882	246,995,167	247,115,616	244,737,112
次期繰越損益金	△ 68,917,903	△ 61,920,566	△ 68,159,948	△ 64,516,274	△ 70,761,694	△ 69,360,310
(D) 受益権総口数	250,030,694口	250,274,361口	247,599,882口	246,995,167口	247,115,616口	244,737,112口
1万口当り基準価額(C/D)	7,244円	7,526円	7,247円	7,388円	7,136円	7,166円

* 当作成期首における元本額は250,102,625円、当作成期間(第84期～第89期)中における追加設定元本額は4,873,250円、同解約元本額は10,238,763円です。

* 第89期末の計算口数当りの純資産額は7,166円です。

* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は69,360,310円です。

■投資信託財産の構成

2022年8月8日現在

項目	第89期末	
	評価額	比率
	千円	%
英国公社債マザーファンド	174,544	99.1
コール・ローン等、その他	1,523	0.9
投資信託財産総額	176,067	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月8日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド=163.21円です。

(注3) 英国公社債マザーファンドにおいて、第89期末における外貨建純資産(173,710千円)の投資信託財産総額(174,542千円)に対する比率は、99.5%です。

英国公社債ファンド（毎月分配型）

■損益の状況

項 目	第84期 自2022年2月9日 至2022年3月8日	第85期 自2022年3月9日 至2022年4月8日	第86期 自2022年4月9日 至2022年5月9日	第87期 自2022年5月10日 至2022年6月8日	第88期 自2022年6月9日 至2022年7月8日	第89期 自2022年7月9日 至2022年8月8日
(A) 配当等収益	—	—	—	5円	8円	—
支払利息	—	—	—	△	△	—
(B) 有価証券売買損益	△ 5,355,123	7,771,247	△ 6,199,640	4,161,785	△ 5,520,090	1,406,984
売買益	1,357	7,789,847	10,427	4,168,036	14,544	1,409,185
売買損	△ 5,356,480	△ 18,600	△ 6,210,067	△ 6,251	△ 5,534,634	△ 2,201
(C) 信託報酬等	△ 187,132	△ 205,922	△ 206,748	△ 193,071	△ 190,321	△ 195,141
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 5,542,255	7,565,325	△ 6,406,388	3,968,709	△ 5,710,419	1,211,843
(E) 前期繰越損益金	△ 29,244,266	△ 34,994,442	△ 27,552,071	△ 34,154,699	△ 30,556,346	△ 36,075,773
(F) 追加信託差損益金	△ 33,631,321	△ 33,990,901	△ 33,706,290	△ 33,836,294	△ 34,000,698	△ 34,006,906
(配当等相当額)	(5,899,675)	(5,701,168)	(5,641,407)	(5,518,367)	(5,479,313)	(5,216,445)
(売買損益相当額)	(△ 39,530,996)	(△ 39,692,069)	(△ 39,347,697)	(△ 39,354,661)	(△ 39,480,011)	(△ 39,223,351)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 68,417,842	△ 61,420,018	△ 67,664,749	△ 64,022,284	△ 70,267,463	△ 68,870,836
(H) 収益分配金	△ 500,061	△ 500,548	△ 495,199	△ 493,990	△ 494,231	△ 489,474
次期繰越損益金 (G + H)	△ 68,917,903	△ 61,920,566	△ 68,159,948	△ 64,516,274	△ 70,761,694	△ 69,360,310
追加信託差損益金	△ 33,836,813	△ 33,990,901	△ 33,816,871	△ 33,879,096	△ 34,213,867	△ 34,118,468
(配当等相当額)	(5,694,183)	(5,701,168)	(5,530,826)	(5,475,565)	(5,266,144)	(5,104,883)
(売買損益相当額)	(△ 39,530,996)	(△ 39,692,069)	(△ 39,347,697)	(△ 39,354,661)	(△ 39,480,011)	(△ 39,223,351)
分配準備積立金	—	50,262	—	—	—	—
繰越損益金	△ 35,081,090	△ 27,979,927	△ 34,343,077	△ 30,637,178	△ 36,547,827	△ 35,241,842

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	294,569円	550,810円	335,034円	451,188円	281,062円	377,912円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	5,899,675	5,701,168	5,641,407	5,518,367	5,479,313	5,216,445
(d) 分配準備積立金	0	0	49,584	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,194,244	6,251,978	6,026,025	5,969,555	5,760,375	5,594,357
(f) 分配金	500,061	500,548	495,199	493,990	494,231	489,474
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	5,694,183	5,751,430	5,530,826	5,475,565	5,266,144	5,104,883
(h) 受益権総口数	250,030,694口	250,274,361口	247,599,882口	246,995,167口	247,115,616口	244,737,112口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

英国公社債マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2022年8月8日)

(作成対象期間 2022年2月9日～2022年8月8日)

英国公社債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	英国債券建債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

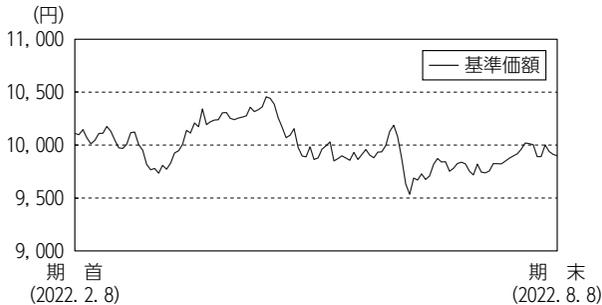
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		FTSE 英国債 インデックス (円換算)		公社債 組入 比率		債券 先 比率	
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	%	%	%	%
(期首) 2022年 2月 8日	10,109	—	10,259	—	96.5	—	—	—
2月末	9,968	△ 1.4	10,063	△ 1.9	96.0	—	—	—
3月末	10,220	1.1	10,221	△ 0.4	96.1	—	—	—
4月末	10,093	△ 0.2	10,104	△ 1.5	95.6	—	—	—
5月末	9,958	△ 1.5	9,801	△ 4.5	94.3	—	—	—
6月末	9,780	△ 3.3	9,560	△ 6.8	95.3	—	—	—
7月末	10,004	△ 1.0	9,796	△ 4.5	96.3	—	—	—
(期末) 2022年 8月 8日	9,899	△ 2.1	9,709	△ 5.4	96.5	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSE 英国債インデックス (円換算) は、FTSE 英国債インデックス (英国ポンドベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE 英国債インデックス (英国ポンドベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,109円 期末：9,899円 騰落率：△2.1%

【基準価額の主な変動要因】

英ポンド建ての債券に投資した結果、保有債券からの利息収入や英ポンドが対円で上昇 (円安) したことはプラス要因となりましたが、金利が上昇 (債券価格は下落) したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○英国債券市況

英国債券市場の金利は上昇しました。

当作成期首より、BOE (イングランド銀行) 委員会で0.5%の利上げを支持した委員が複数名いたことがタカ派サプライズとなり、英国債金利は上昇しました。2022年2月後半には、ウクライナ情勢の悪化に伴い投資家のリスク回避姿勢が強まり、金利は低下 (債券価格は上昇) しましたが、3月に入るとリスク回避姿勢が弱まるとともに利上げ観測が再び強まり、金利は上昇しました。その後は、インフレ率の上昇が続いたことで金融引き締め観測がさらに高まり、金利は上昇を続けました。しかし6月後半からは、経済指標の悪化を受けて景気後退が懸念されるようになり、金利は低下しました。

○為替相場

英ポンドの対円為替相場は上昇しました。

当作成期首より、利上げ観測の高まりから英ポンドは上昇しましたが、2022年2月後半からウクライナ情勢の悪化に伴い投資家のリスク回避姿勢が強まると円が買われ、対円で英ポンドは下落 (円高) しました。しかし3月以降は、BOE (イングランド銀行) が利上げを実行していく一方で、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、金融政策の相違がより明確となり、英ポンドは対円で上昇しました。5月には発表されたGDP (国内総生産) 速報値が市場予想を下振れたことにより、英ポンドが下落する局面が報じましたが、その後はBOEがタカ派姿勢を強めたことで英ポンドは再び上昇しました。6月後半からは、経済指標の悪化を受けて景気後退懸念が高まったことを受け、英ポンドは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、BBB格相当以上 (取得時) の英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利変動リスクを表す修正デュレーションは、5 (年) 程度~10 (年) 程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行います。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行った上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

◆ポートフォリオについて

英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしました。

金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、5 (年) 程度から10 (年) 程度の範囲内で運用しました。英国経済のファンダメンタルズ (経済の基礎的条件) や金融政策の方向性、また世界的な金融環境などを勘案しつつ、修正デュレーションを機動的に調整しました。債券種別構成としては、国債と社債を中心にポートフォリオを構築しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

参考指数は英国債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

英国公社債マザーファンド

《今後の運用方針》

当ファンドは、B B B格相当以上（取得時）の英国ポンド建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの金利変動リスクを表す修正デュレーションは、5（年）程度～10（年）程度の範囲で、英国経済分析や金融政策見通しに基づいて変動させます。債券種別では、国債と社債を中心として投資を行います。社債については、社債発行企業の信用リスク分析を行った上で、クレジット市場全体の動向を加味して投資銘柄を選別します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	2 (2)
(その他)	(0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2022年2月9日から2022年8月8日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄		銘 柄	
	千円		千円
UNITED KINGDOM GILT (イギリス) 0.25% 2025/1/31	17,274	THAMES WATER UTIL CAY FI (ケイマン諸島) 4% 2025/6/19	16,899
United Kingdom Gilt (イギリス) 0.375% 2026/10/22	14,680	Western Power Distribution PLC (イギリス) 3.625% 2023/11/6	16,431
UNITED KINGDOM GILT (イギリス) 0.875% 2033/7/31	7,859	Credit Agricole SA (フランス) 7.375% 2023/12/18	8,645
United Kingdom Gilt (イギリス) 4.25% 2040/12/7	4,449	United Kingdom Gilt (イギリス) 0.125% 2024/1/31	4,394
United Kingdom Gilt (イギリス) 3.5% 2045/1/22	1,932	United Kingdom Gilt (イギリス) 3.5% 2045/1/22	2,511
		GOLDMAN SACHS GROUP INC. (アメリカ) 3.125% 2029/7/25	1,525

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2022年2月9日から2022年8月8日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	イギリス	千イギリス・ポンド 284	千イギリス・ポンド 42
		()	()
	社債券	—	267
		()	()

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
イギリス	千イギリス・ポンド 1,003	千イギリス・ポンド 1,032	千円 168,463	% 96.5	% —	% 69.6	% 26.9	% —

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	当 期			末			償 還 年 月 日
				額 面 金 額	評 価 額		額 面 金 額	評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
イギリス	United Kingdom Gilt	国債証券	1.5000	%	千イギリス・ポンド 83	千イギリス・ポンド 68	千円 11,108	2047/07/22		
	United Kingdom Gilt	国債証券	0.3750		95	88	14,518	2026/10/22		
	UNITED KINGDOM GILT	国債証券	0.2500		110	105	17,175	2025/01/31		
	UNITED KINGDOM GILT	国債証券	0.8750		55	48	7,841	2033/07/31		
	United Kingdom Gilt	国債証券	4.2500		20	25	4,126	2040/12/07		
	United Kingdom Gilt	国債証券	3.5000		148	172	28,234	2045/01/22		
	Italy Government International Bond	国債証券	6.0000		30	33	5,486	2028/08/04		
	Aegon NV	社債券	6.1250		80	95	15,550	2031/12/15		
	HSBC Bank PLC	社債券	5.3750		50	51	8,392	2030/11/04		
	INNOGY Finance BV	社債券	6.2500		40	46	7,621	2030/06/03		
	Northumbrian Water Finance PLC	社債券	1.6250		100	94	15,344	2026/10/11		
	PRUDENTIAL PLC	社債券	6.1250		45	49	8,047	2031/12/19		
	CITIGROUP INC	社債券	6.5000		57	67	11,040	2030/08/16		
	GOLDMAN SACHS GROUP INC.	社債券	3.1250		90	85	13,975	2029/07/25		
	合 計	銘柄数 金 額	14銘柄			1,003	1,032	168,463		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

英国公社債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2022年8月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	168,463 千円	96.5 %
コール・ローン等、その他	6,078	3.5
投資信託財産総額	174,542	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月8日における邦貨換算レートは、1イギリス・ポンド＝163.21円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(173,710千円)の投資信託財産総額(174,542千円)に対する比率は、99.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月8日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	174,542,310円
コール・ローン等	3,689,991
公社債(評価額)	168,463,322
未収利息	2,128,858
前払費用	3,971
差入委託証拠金	256,168
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	174,542,310
元本	176,325,206
次期繰越損益金	△ 1,782,896
(D) 受益権総口数	176,325,206口
1万口当り基準価額(C/D)	9,899円

* 期首における元本額は184,300,801円、当作成期間中における追加設定元本額は2,792,581円、同解約元本額は10,768,176円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：英国公社債ファンド(毎月分配型) 176,325,206円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,899円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,782,896円です。

■損益の状況

当期 自2022年2月9日 至2022年8月8日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	3,012,547円
受取利息	3,012,578
支払利息	△ 31
(B) 有価証券売買損益	6,692,793
売買益	8,470,735
売買損	△ 15,163,528
(C) その他費用	37,483
△	
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,717,729
△	
(E) 前期繰越損益金	2,012,638
△	
(F) 解約差損益金	46,551
△	
(G) 追加信託差損益金	31,254
△	
(H) 合計(D+E+F+G)	1,782,896
△	
次期繰越損益金(H)	1,782,896
△	

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。